

一般質問通告書一覧表

平成30年第2回定例会

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	中沢 仁 議 員	学校跡地の利活用について	人口減少による今後の公共施設の利用需要は変化していきます。特に、学校の統廃合に伴う学校跡地の利活用について伺います。	市長 副市長 担当部長
2	竹神 裕輔 議 員	生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の活用について	地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会実現のため、生活支援コーディネーターの活動が重要な位置づけになっています。 本市においても、昨年末に2名の生活支援コーディネーターを配置しましたが、現在までの活動状況と課題、今後の取組などについてお伺いさせていただきます。	市長 担当部長
3	篠田 純一 議 員	1. 防災の観点から各部課での取組について	①各学校での防災への取組についてと、有事の際の各学校から教育委員会への報告、また各学校への指示系統についてお聞かせ願う。 ②大災害発生時に公助の力にも限界があるとすれば、自助、共助の意識を高めることは大切であるとする。市民協働の観点からも消防団以外の地域防災訓練についても取り組むべきと考えるがいかがか。 ③上下水道が寸断された3.11の経験から、どのような防災体制を整えているか。 ④市道が液状化により使用できなくなった3.11の経験から、どのような防災体制を整えているか。	教育長 担当部長
		2. 危機管理計画にもとづく庁内横断的な連携の強化について	①危機管理計画の概要と進捗状況について 有事の際の対策本部の概要と危機管理監の役割について ②前回の質問で、危機管理計画をもとに考え方の統一を図り、庁内の横断的な連携の強化に努め各部署での活動を明確にすると答弁をいただいた。 有事の際に危機管理における組織力を遺憾なく発揮するには、互いに業務を押し付け合うのではなく、助け合い、また指示者には発言権を与え、指示された者は従い、かつ指示者をサポートする、そのような体系の構築、また共通の認識を図る事が連携の強化と考えるがいかがか。 また、連携強化に対する取組の進捗状況をお聞かせ願う。	市長 副市長 担当部長

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	松戸 千秋 議 員	1. 高等学校通 学費助成事業導 入について	通学費助成は、子育て支援や定住促進の観点から導入する自治体が増えています。駅が無く、交通手段の限られた当市において高等学校通学費助成事業導入についてのご見解をお伺い致します。	市長 教育長 担当部長
		2. 下水道及び 農業集落排水施 設接続支援事業 の拡充について	平成30年4月より森林湖沼環境税を活用し、下水道や農業集落排水施設への接続工事費補助金が大幅に拡充されます。制度拡充以前に工事が完了した世帯に対し、市として一部還元するお考えはあるかお伺い致します。	市長 担当部長
5	若松 宏幸 議 員	1. 持続可能な まちづくりにつ いて	稲敷市はこれから人口規模も経済規模も財政規模も半減していく。縮小時代に適応した先進的な実例も数多くみられる中、本市の地域再生策についてお伺いします。 併せて、創業支援事業に対する活動状況についてもお伺いします。	市長 担当部長
		2. 中小企業の 設備投資を促す 制度について	「生産性向上特別措置法」が公布され、本市でも対応を準備しているとお伺いしましたが、中小企業事業者に対しての制度の活用推進や情報提供について、お伺いします。	市長 担当部長
6	根本 浩 議 員	登下校の子ども たちの安全はど のようにして守 られているのか 伺う。	①市内の小中学校へデジタル地図ソフトの導入について ②抑止力に繋がる防犯カメラの設置状況について	市長 担当部長
7	山口 清吉 議 員	1. 新規就農者 支援事業につ いて	①新規就農者生活支援 ②新規就農者農業機械、農業施設整備支援 ③親元就農支援 ④農業後継者支援 ⑤農業研修支援 等々実施する考えはないか伺う。	市長 担当部長
		2. 道路の維持 管理と円滑な交 通の確保につ いて	道路パトロール実施要綱を作成し、定期的に道路パトロールを実施する考えはないか伺う。	市長 担当部長
		3. 特別養護老 人ホームの誘致 について	①特養老入所者の利用者負担額は所得および個室と多床室によって、どのような違いがあるか伺う。 ②稲敷市への特養老の誘致に当たっては、負担額の少ない多床室の割合を多くするように指導するとともに、採用の条件とする考えはないか。	市長 担当部長

質問 順位	質問者	質問事項	質問 要 旨	答弁者
8	浅野 信行 議 員	1. 認知症対策 について	厚生労働省は、平成27年に認知症施策推進総合戦略、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて・新オレンジプラン〈七つの柱〉を公表しました。稲敷市としてどのように取り組んできたのか。(認知症サポーター養成講座とか認知症カフェ等) また、これからの取組をお伺いします。	市長 担当部長
		2. ロゲイニング について	ロゲイニングとは、地図などを使ってコースに多数設置されたチェックポイントを、できるだけ多く制限時間内にまわり得られた点数を競う野外スポーツです。 鹿沼市では、第2回サイクルロゲイニングが5月20日に開催されました。 稲敷市でも、サイクルロゲイニングに取り組んではいかがでしょうか。	市長 担当部長
9	黒田 茂勝 議 員	1. 稲敷市の学 校教育について	稲敷市の教育に関する現状と課題、そして、将来の構想について伺います。	市長 教育長 担当部長
		2. 稲敷市のま ちづくりと公共 交通について	稲敷市のまちづくりと公共交通の現状と課題、そして、今後の再編計画について伺います。	市長 副市長 担当部長